令和７年度　　日野市立 豊田小学校　　経営重点計画　　自己評価シート　　令和7年6月公表

★学校の教育目標	○たくましい子　○たすえあう子　◎かんがえる子	★重点計画の概要
★目指す学校像（ビジョン） 【目指す児童像】 【目指す学校像】 【目指す教師像】	「心身ともに健康な体・行動力」「社会貢献力」「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」「基礎・基本となる力」「表現力・発信力」「対話力」「自己有用感」 みんなで創るみんなが楽しい学校 ○すべての”いのち”を守り育む教師　○子供一人一人を大切にした温かい学級をつくる教師　○地域をステージに、主体的・対話的で深い学びを創造できる教師 ○特別活動、特別支援教育の専門的な知識や技能を身に付けた教師	日野市第4次学校教育基本構想「子供たちがつくる学校」プロジェクト」に基づき、学校経営目標を「みんなで創るみんなが楽しい学校」とする。自己決定を重視した授業を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、学校行事を自分たちでつくっていったり、地域や社会をよりよくするために活躍したいと思ったりする児童を育てていく。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準 取組指標	評価指標・評価基準 成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	学校安全の充実と教育環境の整備を図る。	自他を大切にし、いじめや不登校が発生しにくい土壌を、子供、学校、保護者、地域、関係機関で醸成する。	○3回のふれあい月間を核として、「学級のよりよい雰囲気をつくるための指導」と「いじめ防止の指導」を行い、いじめや不登校が発生しにくい風土をつくる。 ○日頃から子供の変化を察知するとともに、生活アンケート（５月、７月、９月、１１月、２月）を実施して、いじめの未然防止、早期発見を図る。 ○年間を通して、学期に１回、道徳科で友情・信頼・思いやり等に関する授業を実施する。	4　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が90%以上。 3　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が８５%以上。 2　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が８０%以上。 1　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が８０%未満。	4　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が90%以上。 3　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が８５%以上。 2　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が８０%以上。 1　生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万一いじめが発生した時には、学校いじめ対策委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が８０%未満。
			○子供が欠席した場合は直ちに家庭に連絡を取り、子供についての情報共有と行動連携を図る。 ○子供の状況に応じて迅速に対策委員会を開き、必要な関係機関（スクールカウンセラーや校内別室指導員、日野市子供家庭支援センター、児童相談所や日野警察等）と連携して、不登校の解消を図る。	4　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が９０%以上 3　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が８５%以上 2　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が８０%以上 1　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が８０%未満	4　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が９０%以上 3　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が８５%以上 2　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が８０%以上 1　欠席している児童の様子を把握し、家庭と情報を共有したり、状況に応じて関係機関と連携をとったりするなど丁寧な対応を図った教員が８０%未満
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	主体的・対話的で深い学びを実現させることにより、ワクワクする授業を行う。	ひのスタンダード（UDユニバーサルデザイン）の授業を基本として、一律一斉の学びから、自分を知り、相手を知り、自分たちで考え、語り合いながら生み出す学び合いと活動を実践する。	○授業のユニバーサルデザインに基づく問題解決型の授業をとおし、できる楽しさ、分かる楽しさ、認められる楽しさを味わわせる授業を実践する。 ○「教わる」だけではなく、各教科等で子供たち自身が分かち合うための個別学習・教え合い学習を行い、みなが参加し ともに知恵を出し合う授業実践をする。	4　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が85%以上 3　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が80%以上 2　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が75%以上 1　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が75%未満	4　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が85%以上 3　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が80%以上 2　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が75%以上 1　UDを基にした授業を構成し、対話等を通した探究的な活動を図った教員が75%未満
	日常的・継続的な運動と安全指導の充実を図ることにより、心身の健康や粘り強さを育成する。	体を動かす楽しさ・心地よさを味わわせる取り組みを充実させて、生涯スポーツの態度を養うとともに、健康で安全な生活を送るための資質・能力を育む。	○外遊びの推進、体育授業での運動量の確保、体力向上を図る活動の充実に取り組むことで、運動に親しむ態度を育む。 ○外部講師を招聘し「本物に触れる体験授業」を実施し、授業改善を図る。	4　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が90%以上 3　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が85%以上 2　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が80%以上 1　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が80%未満	4　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が90%以上 3　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が85%以上 2　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が80%以上 1　「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が80%未満
社会と未来に開き、みんなでつくる	全教育活動において、「子供たちがつくる学校プロジェクト」を推進する。	学校行事、児童会活動、委員会活動、クラブ活動、たてわり班活動において、自覚と責任を育てるために、児童にリーダーとなる経験をさせるとともに、児童の主体性を生かした活動を行う。	○各教科等を学ぶうえでの基盤となるように、自分の考えをもち、話し合い、考えを深める活動を中心にした学級活動を充実させ、学校生活上の様々な課題を主体的に解決しようとする態度を育成するとともに、一人一人の個性や能力を認め合う学級集団を形成する。 ○「キャリア・パスポート」を活用しながら児童が自らの成長を実感できるよう系統的な指導を行う。	4　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が９０%以上 3　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が８５%以上 2　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が８０%以上 1　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が８０%未満	4　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が９０%以上 3　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が８５%以上 2　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が８０%以上 1　「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が８０%未満
	地域をステージとした学びを通して、自己有用感を味わわせ、豊かな人間性と社会性の育成を図る。	学校・保護者・地域と共に、生活科・総合的な学習の時間を中心に、一人ひとりが多様な学び方で学ぶ教育活動を推進する。	○コミュニティ・スクールを活用し、より一層地域参画型の教育活動や地域人材を活用した体験学習等、地域をステージとした主体的・対話的で深い学びを充実させる。	4　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が９０%以上 3　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が８５%以上 2　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が８０%以上 1　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が８０%未満	4　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が９０%以上 3　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が８５%以上 2　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が８０%以上 1　地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が８０%未満

※評価指標・評価基準は、２の段階を現状としています。